

# 診療放射線技師養成

千田 久治

1895年にX線が発見されて32年後に我が国最初の放射線(レントゲン)技師養成所「島津レントゲン技術講習所」が1927年に京都に開設された。ここが開設されるまでは、10日間ほどの技術者養成講習会が開かれていた。当初の修学期間は6カ月で、徐々に期間は伸びて1年になったそうである。1935年にレントゲン技術専修学校と改称し、専門学校、京都医療技術短期大学を経て、2007年には4年制の京都医療科学大学へと発展している。国内最初の短期大学は1967年(駒澤)に認可され、4年制大学のはじめは1987年(藤田)に設立された。

なお、日本放射線技師会が設立した鈴鹿医療科学大学は1991年に開設されている。

国立大学では、最初に(1952年)大阪大学付属X線技師学校が認可され、順次、東北、九州、名古屋、北海道、金沢、岡山、千葉、新潟、徳島、熊本、弘前の12大学にX線技師学校が併設され、のちに4年制大学(学部)に再編成されている。なお、千葉大学医学部附属診療エックス線技師学校は1957年4月に設置されたが、2002年に763名の卒業生を輩出し、45年の放射線技師教育の歴史に幕を閉じている。これにより国立の養成機関(大学)は11校となった。

(平成17)年に、「首都大学東京」という大学名称で都立の4つの大学「東京都立大学」「東京都立科学技術大学」「東京都立保健科学大学(放射線学科ほか)」「東京都立短期大学」を再編・統合して設置し、2020年に大学名称を「東京都立大学」に変更した。

かつて神奈川県内には北里大学と昭和大学の2校の養成施設があったが、昭和大学診療放射線専門学校は、2001年に開校し2011年に廃止している。しかし、新たに保健医療学部を新設し(横浜市緑区)、診療放射線技術学専攻等の開設を計画(2028年)している。

国際医療福祉大学は、大田原(栃木)と成田(千葉)のそれぞれのキャンパスに放射線技師養成課程を開設していて、合わせると私立大学は現在25校を数えている。

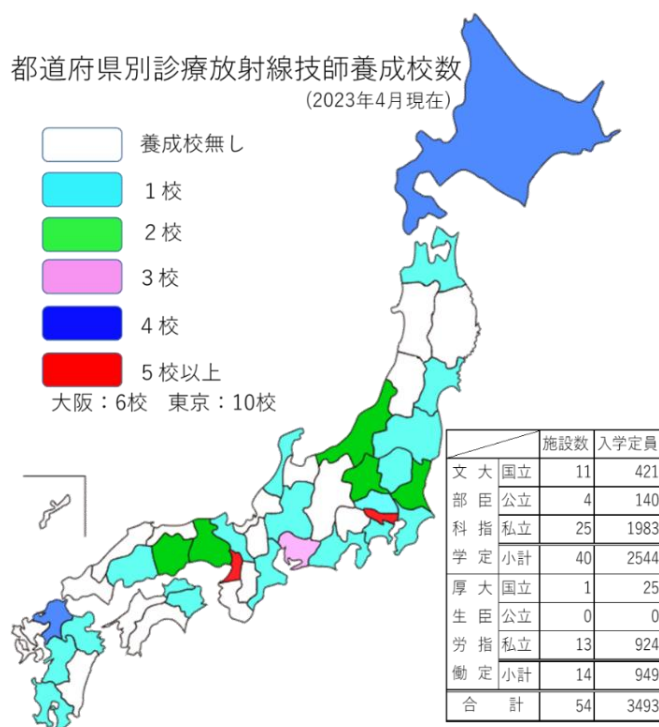
厚労省管轄の専門学校(3年制及び4年制)は、自衛隊中央病院放射線技師養成所(国立)と私立を合わせて14校である。

最も新しい養成校は、2024年4月に開設する予定の福岡国際医療福祉大学(福岡県)と、専門学校(3年制)の募集を停止して、4年制大学に移行する日本文理大学(大分県)である。

2024年4月には、専門学校が13校になり、大学が1校増えて42校となる。

「島津レントゲン技術講習所」の募集定員は21名の極狭い門であったが、養成校が増えれば、募集定員数も多くなるわけで、入学者の推移をみると、1982年の入学者数は1,572人であったが、2023年は3,563人と2.26倍に増えている。2008年近辺に一時減少があったが、その後は上昇し続けている(グラフ棒グラフ)。

女性の比率は1982年には12%強で、徐々に比率が高くなり、2023年には50%と半数を女性が占める状況になった(グラフオレンジ色線)。



公立大学は、福島県立医科大学、茨城県立医療大学、群馬県立県民健康科学大学、と東京都立大学の4校である。なお、東京都立大学は、2005

